

平成25年度
教育に関する事務の点検・評価報告書

「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」
実施状況報告書

平成26年9月
愛知県教育委員会



教育は 未来へつなぐ 希望の輪

教育に関する事務の点検・評価報告書について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条では、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことなどが規定されている。

この報告書は、同条に基づき作成するもので、議会へ提出するとともに公表する。

また、本書は本県教育の総合的な計画である「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」（平成 23 年 6 月策定。以下「アクションプランⅡ」という。）に基づく取組状況の年次報告書としても位置づける。

2 学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、報告書原案に対して、以下の方々から意見をいただいた。

氏名	職名
安彦 忠彦	神奈川大学特別招聘教授(中央教育審議会委員)
中野 靖彦	愛知淑徳大学文学部教育学科教授
今川 峰子	中部大学現代教育学部幼児教育学科教授

(敬称略)

3 点検・評価の手法・構成

本書は「アクションプランⅡ」の年次報告書の性格を併せ持つため、「アクションプランⅡ」で掲げた下記の 4 つの「重点目標」とその目標を実現するための基盤となる「魅力ある教育環境づくり」に沿って、5 章で構成することとした。

また、「アクションプランⅡ」策定後に生じた課題についても、適宜記載することとした。

- 1 幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図ります。
- 2 発達段階に応じたキャリア教育を充実します。
- 3 学習意欲の向上を図り確かな学力を育成します。
- 4 豊かな人生を送るための生涯学習を充実します。

〔魅力ある教育環境づくり〕

「アクションプランⅡ」に基づき、各章では、本県において平成 25 年度に積極的に取り組んだ施策を 21 項目の主要テーマとして設定し、そのテーマごとに施策の実施状況、取組の成果、課題、今後の方向性を記載した。

今後の方向性は、短期的に取り組むことと長期的に取り組むことを区分して記載し、方向性を明確にした。

なお、短期とは、27 年度予算化を含め、概ね 26 年度中に取り組むもの、長期とは、具体的な年度は確定していないが、将来に向けて取り組む必要があるものとした。

また、県教育委員会の取組だけでなく、知事部局、警察本部、市町村教育委員会や公立学校、私立学校の取組も併せて掲載した。

「アクションプランⅡ」で設定した「効果指標」の達成状況については、各章の最後に「効果指標の達成状況」として記載した。

個別の施策の実施状況は、第5章の次に「あいちの教育に関するアクションプランⅡ〈個別施策の実施状況〉」として、「アクションプランⅡ」に掲げた「取組の柱」、「取組の方向」の区分に従い、一覧表形式で整理した。

学識経験者からの意見については、巻末に「有識者の意見」として掲載した。

目次

第1章 幅広い県民の参加による道徳性・社会性の向上	1
テーマ1 いじめ問題等への対応	2
テーマ2 生徒指導のあり方	6
テーマ3 社会全体のモラル・マナーの向上	8
テーマ4 幼児教育の充実	10
テーマ5 防災教育の推進	14
効果指標の達成状況	16
第2章 発達段階に応じたキャリア教育の充実	19
テーマ6 職場体験活動・インターンシップ等の推進	20
テーマ7 産業教育の充実	24
テーマ8 グローバル化への対応	28
効果指標の達成状況	32
第3章 学習意欲の向上・確かな学力の育成	37
テーマ9 学力の向上	38
テーマ10 入学者選抜制度の改善	44
テーマ11 魅力ある学校づくり	46
テーマ12 特別支援教育の充実	50
テーマ13 読書活動の推進	54
効果指標の達成状況	58
第4章 豊かな人生を送るための生涯学習の充実	61
テーマ14 生涯学習の推進	62
テーマ15 伝統文化を尊重する心の育成	66
テーマ16 スポーツプランの推進	70
テーマ17 持続可能な社会の担い手の育成	74
効果指標の達成状況	78

第5章 魅力ある教育環境づくり	・・・	83
テーマ 18 学校施設の耐震化・老朽化対策	・・・	84
テーマ 19 公立学校と私立学校の連携	・・・	86
テーマ 20 子どもと向き合う環境の整備	・・・	88
テーマ 21 教育委員会の充実	・・・	92
あいちの教育に関するアクションプランⅡ〈個別施策の実施状況〉	・・・	95
有識者の意見	・・・	153
(参考) あいちの教育に関するアクションプランⅡの概要	・・・	157